平成 23 年 5 月 1 日
第 48 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

農地・水・環境保全向上対策

一層の努力 農環境の向上と地域連携

力を合わせて八方原の環境整備

平成23年度がスタートしました。八方原の環境を守る会も5年目の事業を迎えることとなりました。

今までの4年の間には政権交替が行われ、今までの体制が維持できるのかという不安もありましたが、なんとかここまでやってきました。そして先月の大震災が起きました。確かに復興には大きなエネルギーが必要になりますが、逆にここで私たち直接的な被災をしていないものまで萎んでしまっていては国全体の力を落としてしまうばかりです。

八方原の環境を守る会では例年のように活動を続けてまいります。施設の長寿命化など、維持管理や、地域との連携教育機関との連携などの活動を展開してまいりますので、ご協力をいただきますようお願いいたします。

昨年度の事業報告や新年度の事業計画案などを審議していただく総会を左記のように予定しておりますので、関係者のご参加をお願いします。

第5回八方原の環境を守る会総会
日時 5月18日（水） 午後7時
場所 八方原公民館

◇◇◇ 平成 23 年度八方原区役員名簿 ◇◇◇

役名	氏名	電話番号	役名	氏名	電話番号
区長	原田昭雄	972-0751	老人会会長	原田孝夫	972-7609
副区長	原田茂樹	973-3091	〃副会長	原田和子	972-7602
公民館長	松井和政	972-7808	〃副会長	原田好江	972-0764
会計	片山静市	972-7175	交通委員	田良宜充	974-2373
会計監査	石田義博	973-1592	〃	黒瀬秀俊	972-3240
〃	原田孝次	972-7605	子供会会長	田良宜充	974-2373
体育部長	伊藤敏巳	973-0606	〃副会長	杉山良明	972-3465
体育副部長	石田博子	973-1592	踊り推進委員	原田温子	972-7608
衛生部長	原田稔裕	972-6609	母子保健推進委員	佐々木彰子	972-7857
消防組組頭	西尾幸爾	972-6847	福祉委員	黒瀬邦子	972-7804
〃副組頭	原田茂樹	973-3091	墓地管理委員	原田信義	972-7606
民生委員	末広玲子	972-3491	防犯連絡員	神武正信	972-3827
			お宮総代	原田茂樹	973-3091

3月の総会で平成 23 年度の役員が決まりました。地区の力を合わせて、今年も頑張りましょう。

何が流れ出たのかな

4月中旬、地区内北側の水路の椹野川への放流箇所のゲート付近に多数のオイル吸着マットが水の上にあるのを発見したという通報がありました。

すぐに見に行くと、通報の通りでした。「どこかから油が流れ出たのかも知れない。」水路を調査しましたが、上流側のどこにもそんな箇所はありませんでした。

区長にお尋ねすると、きちんと情報を把握しておられました。「水門のメンテナンス業者がゲートウィンチの点検中に誤ってオイルを水路にこぼしてしまったので、その処理をしているところ」とのことでした。

水路への異物の流入は困りますが、大事でなくて良かったです。


白い吸着マットが浮かぶゲート付近

大運動会に参加しよう

今年度は東日本大震災の影響もあって「スポーツフェスティバル」という名称を外して行うことが決まっています。スポーツにはなかなか馴染みのない方も少なくありませんが、健康維持にもから動かすは大切とです。



毎回、体育部長さんを始め運営のお世話をする方が苦労されています。何かひとつの競技でも参加いたしましょう。

ご自身のためだをことなこ

ふれあい朝市 相変わらず盛況

すっかりお馴染みになった「八方原ふれあい朝市」毎週土曜日の早朝は明るい笑顔と笑い声に包まれます。

常連さんは早朝から来て、自分の買い物かごをレジの列に並べていきます。その順番で精算をしてもらえるので、大事な順番取りです。

地元でできる安心の食材を手に入れて、その後のワイワイがやがやも楽しそうです。



たき火を囲んでの語らいも魅力のひとつ

人生を謳歌（おうか）「敬老会」

4月24日、区敬老会が開催されました。敬老会は区の行事としては一番最初に来るものですが、地区の大先輩に対するご挨拶とも言える大切な行事です。

当日は区の三役を始め各班長さんのお世話で運営され、参加された方々は歌あり踊りありの楽しい時間を過ごしていただいたはずです。



お酒も少々入っての、楽しい時間

さよなら路線バス



16時46分上八方原を後にする最後のバス（3月31日）

3年前に運行が始まった路線バスが平成23年3月31日で路線変更となりました。

最終便を記録して置こうと、バス停に向かしました。最終便は16時45分下八方原停留所のバスで県庁行きでした。バス停に近づくと既にビデオ撮影をしている女性がいました。「最後の便をビデオに撮っておく」とのこと、地元の私たち以上に関心の高い人がいたのですね。

防府から来たというその方に話しを聞いてみると、公共交通機関などに強い関心を持っておられることが分かりました。驚いたことに、小郡の出身の方で、地区の公民館を設計してくれた水谷設計士の娘さんでした。なんとも不思議な縁です。

その後にも撤去される前のバス停を撮影している人が居られました。残念ながらバス路線は無くなりましたが、地区外の人から惜しまれたとは皮肉でした。



乗り物の中でもバスは一番関わりがあるとのこと、熱心にビデオ撮影

新しい人 2班に



堂々たる偉丈夫の白子さん（左）

2班の黒瀬和美さんのお宅に新しい家族が加わりました。白子さんというご家族です。

白子さんの奥さまは黒瀬さんの娘さんです。この度御同居されることになり、4月10日の総会で義父の黒瀬さんが紹介してくださいました。よろしくお願いします。